

令和7年度の優秀作品は次のとおりです！

テーマは「初めての投票」だよ。
「初めての投票」について、自分の意見や考えや伝えたいことなどを
メッセージにして、応募しよう！



石川県選挙管理委員会委員長賞

世の中には、「どうせ、自分の一票が社会を変えるはずがない」と考える人がいる。では、その一票が私たちの社会を、国を変えられたとしたら。この社会に不満があるなら、私たちの生活をもっと良くしたいという思いがあるのなら、選挙に行くべきだ。国民の意見を託すことができる政治家に、私は投票したい。この一票には希望と未来があるから。

金沢高等学校 1年 山下 倅奈

石川県明るい選挙推進協議会会長賞

自分が投票したところで変わらない。もうそんな考えはやめようと思う。新有権者になり、貴重な一票を持ったからこそ一歩踏み出す必要がある。社会の未来を作り、変えていけるのは私たちしかいない。だからこそ、政治から目をそむけないでちゃんと知ろうと向き合い、多くの若者に選挙に行ってもらいたい。私は積極的に選挙に参加していく。

石川県立羽咋工業高等学校 3年 中井 纏

～優秀賞～

私は政治とはとても遠い存在だと思っていた。投票をしない若者の多くは同じように思っているだろう。私の一票で結果は変わらないと思い込んでいるが、それは違うかもしれない。一人が行くことで周りの人々も一人、また一人と動き出す。多くの世代がそれぞれの視点で意見することで政治は成り立つ。私は自分の一票を大切に投票したい。

石川県立金沢伏見高等学校 3年 山本 光莉

これまでは、選挙や政治にあまり関心がなく、ニュースを見ても、どこか他人事のように感じていた。しかし、将来のくらしや社会について考える機会が増え、気持ちが変わった。政治は難しく分からないことも多いが、だからこそ放置せず、自分なりに学び考えていくことが大切だと思う。小さな一票でも、参加することに意味があると私は考える。

石川県立金沢伏見高等学校 3年 高田 深結

今の政治の問題は、私たち若い世代の投票率が低いことだ。そのことはみんな知っていると思うが、なかなか行動に移せない。しかし、誰のために投票するのかを考えれば一歩を踏み出すことが必要だと思うはずだ。自分は関係ないと思わず、未来の自分や友達、その次の世代のためにも投票はすべきだ。私が十八歳になったら必ず行く。

石川県立羽咋工業高等学校 3年 表 光城

選挙は「難しい」「よくわからない」と言うけれど今はスマホやテレビでなんでも知ることができる時代。だから見て見ぬふりをせずに10分でもいいから選挙について調べてみるのが大事だと思う。その10分で自分の未来、日本の将来について深く考えることができると思うから。選挙について考えることが出来たらあと一歩。あとは投票に行くだけ。

石川県立田鶴浜高等学校 3年 本多 暖琉